

## 柏崎刈羽原子力発電所 5 号機の出力低下について

平成 16 年 6 月 16 日  
東京電力株式会社

当社・柏崎刈羽原子力発電所 5 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、平成 16 年 6 月 16 日午前 2 時 8 分頃、中央制御室において C R D アキュムレータ<sup>(注)</sup> 圧力の低下を示す警報が発生いたしました。現場確認をしたところ、185 本ある制御棒のうち 1 本の挿入圧力の低下が継続しており、当該制御棒が保安規定に定める挿入圧力を確保できないことから、保安規定に定められている処置を行うことといたしました。（「運転上の制限の逸脱」）

保安規定においては、当該制御棒のアキュムレータの圧力を 8 時間以内に復旧するか、または当該制御棒を全挿入することが求められております。

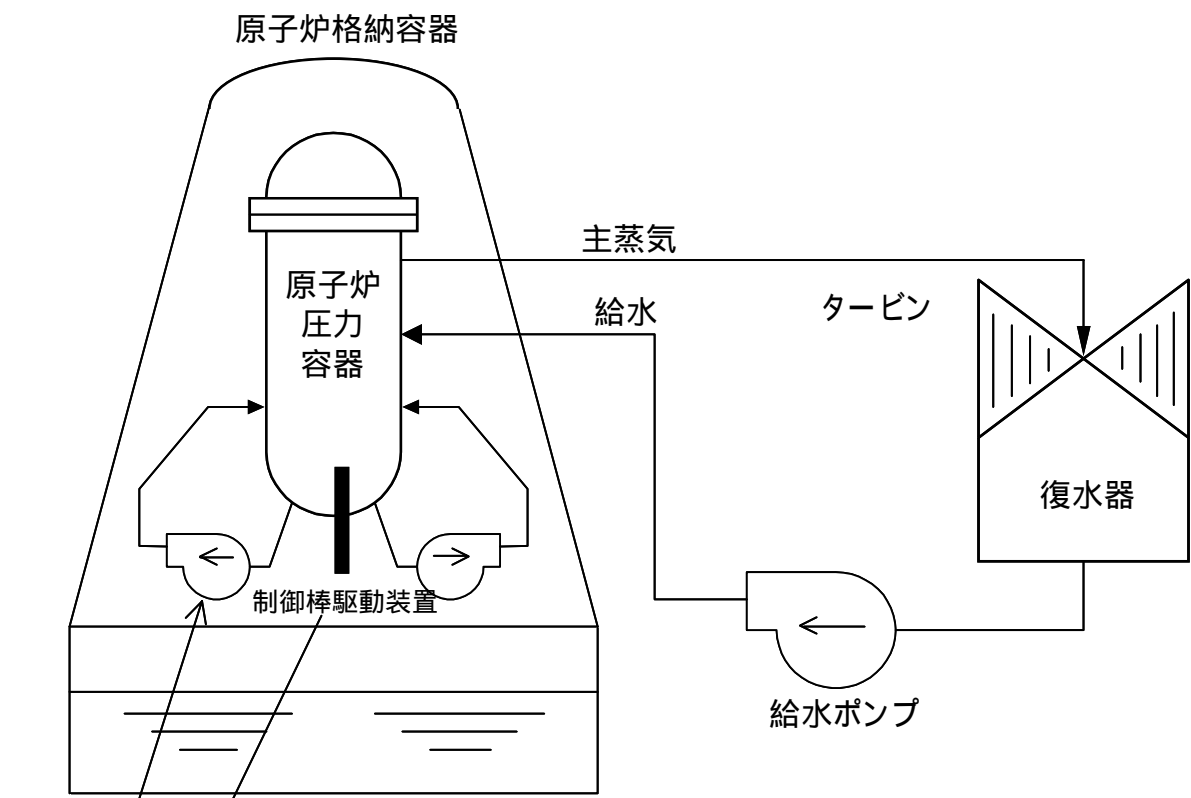
今回、当該制御棒を全挿入する際、燃料への影響を緩和するため、午前 8 時 34 分より出力を一旦約 113 万キロワットから約 98 万キロワットまで低下させ、当該制御棒 1 本を挿入いたしました。今後、当該水圧制御ユニットの漏えい箇所を分解し、点検、修理することといたします。

なお、原子炉を緊急停止させる機能に影響はありません。

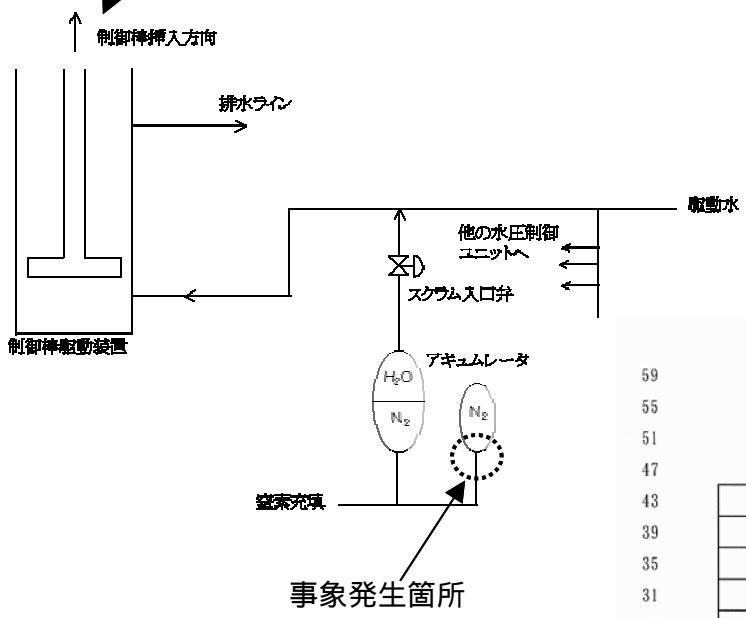
以 上

(注)：C R D アキュムレータ

制御棒（C R）の急速挿入は、水圧により駆動するが、水圧を制御するための高圧窒素ガスを供給する装置。今回はこの高圧窒素ガスの圧力が低下したものの。



# 系統概略図



## 制御棒駆動系概略図

